
森吉山ダム試験湛水開始および 湛水式典の開催について

～本体建設工事に着手し 9 年、

今年から湛水を開始します。～

森吉山ダムは 昭和 47 年の大洪水を契機に、昭和 48 年 4 月に事務所を開設し、平成 3 年度に一般補償に関する協定締結、平成 13 年度にダム本体建設工事の開始、平成 19 年度には、ダム堤体の盛立全てを完了しました。その後、ダムの管理に必要な設備工事などを進めてきましたが、これらの工事も完了となることから、1 月 20 日から試験湛水を開始することになりました。

試験湛水開始にあたり、「湛水式典」も別紙 1 のとおり行いますので合わせてお知らせいたします。

* 尚、試験湛水後の状況は、森吉山ダム工事事務所の HP で見る事が出来ます。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 森吉山ダム工事事務所
北秋田市米内沢字東川向 5 TEL : 0186-72-3015
副所長（技術） 菊地 厚 （内線 204）
調査・品質確保課長 船木純孝 （内線 351）

森 吉 山 ダ ム 湛 水 式

【開催主旨】

森吉山ダムは、平成 23 年度完成を目指し、秋田県北秋田市において建設を進めてまいりました。この度、ダム本体及び管理設備が完成し、1月20日から試験湛水を開始します。

試験湛水とは、ダムの通常の管理に移行する前に、貯水位を上昇及び下降させ、ダム堤体、基礎地盤及び貯水池周辺地山の安全性等を確認することをいいます。

試験湛水開始という工事の大きな区切りにあたり、地元・関係者の皆様の立ち会いのもと、湛水式を開催するものです。

- 1 日 時 平成 22 年 1 月 20 日(水) 午前10時30分～
- 2 場 所 北秋田市大字根森田(右岸) 森吉山ダム管理庁舎
- 3 主 催 北秋田市、秋田県北秋田地域振興局、東北電力(株)、
東北地方整備局森吉山ダム工事事務所
- 4 出席者 秋田県、関係市、関係団体、施工業者など 約 40 名出席予定
- 5 次 第
 - ① 開 式
 - ② 挨 拶
 - ③ 来賓祝辞
 - ④ 工事経過報告
 - ⑤ 湛水の儀 (仮排水トンネル閉塞ゲート降下)
 - ⑥ 閉 会

6 その他

- ・ 会場は手狭なため、一般の方々の入場は20名程度に制限させていただきます。
なお、隣の森吉山ダム広報館において、上流部呑口側をゲートで閉塞する映像を放映する予定です。(予定時間9時～11時15分)

- ・ 湛水式に先立ち、施工業者による湛水修祓式が実施されます。

開始時間 9時40分～

主催 森吉山ダム本体建設第1工事 大林・間・五洋特定建設工事共同企業体、
森吉山ダム本体建設第2工事 西松・三井住友・銭高特定建設工事共同企業体、
北日本機械株式会社

森吉山ダム試験湛水開始

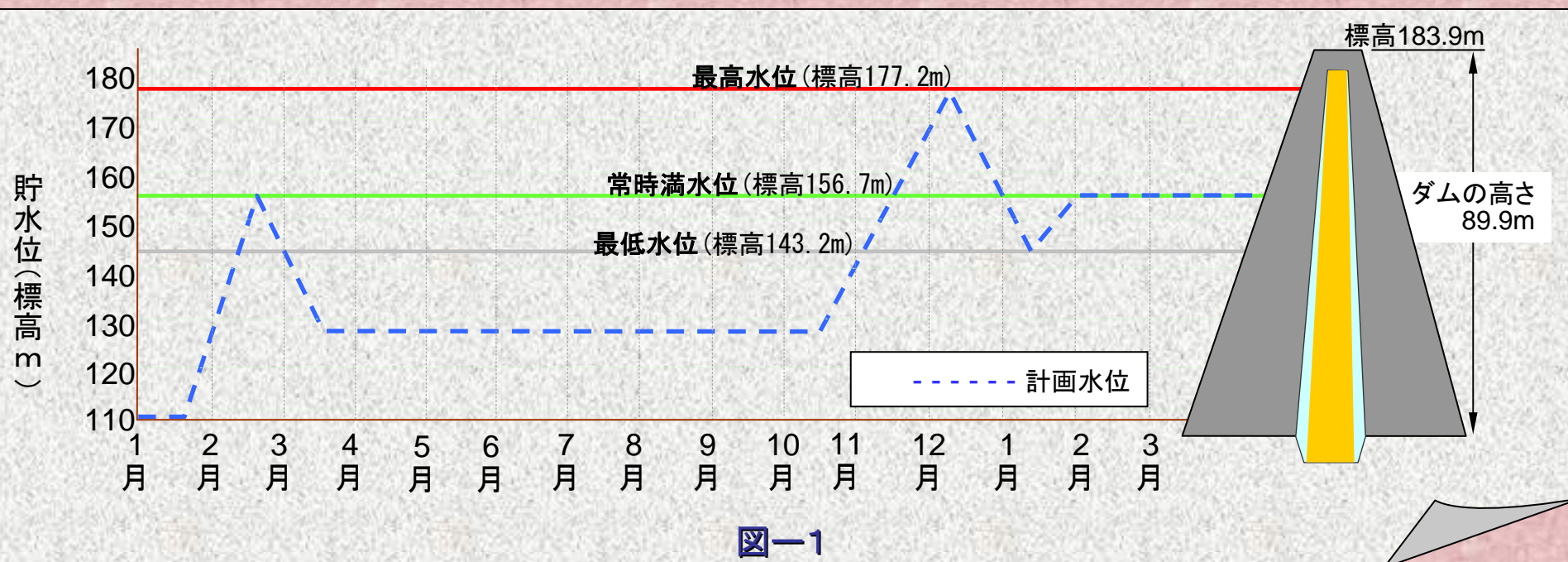
～森吉山ダムでは1月20日から試験的に水を貯めます～



森吉山ダムでは、事業の進捗に伴い平成22年1月20日より、試験的に水を貯める「試験湛水」を開始します。

試験湛水は、ダムの本格的な運用を始める前に、貯水位を上昇および下降させ、ダム堤体、基礎地盤、貯水池周辺の地山などの安全を確認することを目的とするものです。

試験湛水は、現在、小又川の水が流れている仮排水路トンネルを締め切ることによって開始されます。森吉山ダムの試験湛水は、夏場の洪水期をさけ2山を計画しております。平年並みの降雨であれば、今年の12月頃には最高水位に達する予定です。その後、水位を下げ平成23年2月頃には試験湛水を終了させる予定です。



～試験湛水期間中、小又川はこうなります。～（図-1から）

1・ダムに水を貯めている期間 【ふだんより川の水量が減ります。】

試験湛水開始直後2～3日程度は、一時的にダム下流の水量は極端に減少します。それ以後は、河川環境に影響を与えない範囲で水を流します。

2・ダムの水位を下けている期間 【ふだんより川の水量が多くなります。】

ダムからの放流によって、河川の水位が急に上昇するおそれがあります。その時は、河川利用者に対し、注意喚起のため警報サイレンや警報車で巡回しお知らせします。





ダム堤体

撮影 9月



管理庁舎

取水塔

仮排水路トンネル呑口

現在の小又川の流れ

撮影 12月



洪水吐

撮影 9月

森吉山ダム諸元

型式	中央コア型ロックフィルダム
堤高	89.9m
堤頂長	786m
堤体積	5,850,000m ³

貯水池

貯水池の名称	森吉四季美湖
湛水面積(最高水位で)	3.2km ²
総貯水容量	78,100,000m ³



森吉四季美湖

最高貯水位時のイメージ